

平成17年12月 検定試験

【No.02】 通信信号に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 符号形態の場合は、通信する情報を信号電圧の変化の組み合わせで作っているため、電圧の変化のみで通信内容の判断ができる。
- (2) 符号形態の場合は、装置ごとに定められた波形を確認することで通信内容の判断を含めた点検を行うことが可能である。
- (3) 信号形態の信号は、マイコンが直接取り扱える信号でデジタル信号とも呼ばれている。
- (4) 符号形態の場合は、通信情報を受信してもマイコンが通信文の解読ができなかった場合、また、解読してもプログラムに書き込まれている情報内容により異常と判断した場合に検知を行うことが可能である。